学校番号	３０８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「高校日本史」　（山川出版）「新詳日本史」　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、歴史に関する諸事象について理解するだけでなく、1 年次の歴史総合、２年次の日本史探究で学んだ知識や情報を関連づけながら様々な角度から考察・構想したり、考察・構想したことを適切かつ効果的にまとめて他者に説明したり、またそれらを基に他者と議論したりする協働的な活動を行います。自分の意見を他者の意見と比較して再度検討したり、必要な場合は修正したりしながら考えを深めましょう。
・上記の点について、特に１年次の歴史総合で学習した近現代史を日本史に焦点を当てて学びなおします。復習にあたる範囲も多くありますので、１年次の教材も活用して見直しをしましょう。
・授業では、教科書と資料集を必ず用意してください。
・授業で配布される授業プリントについては、ただ板書を書き写すだけでは不十分です。授業担当者が口頭で説明したポイントや、教科書・資料集から読み取れる情報、自分自身で気づいたことや疑問、クラスメイトの発言内容を記入するなどして、授業に主体的に取り組むように心がけましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を次の通り育成することを目ざす。

(1)国際社会（アジア近隣諸国や欧米諸国）との関係、産業の発達の背景と影響、戦争の推移、国民の生活や地域社会の変化、政治・経済体制変化と思想への影響などについて、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、近現代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身につけること。

(2)歴史に関する諸事象の意味や意義などを、国際社会（アジア近隣諸国や欧米諸国）との関係、産業の発達の背景と影響、戦争の推移、国民の生活や地域社会の変化、政治・経済体制変化と思想への影響などに着目して、多面的・多角的に考察したり歴史にみられる課題を把握し構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

(3)歴史に関する諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてなどの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国際社会（アジア近隣諸国や欧米諸国）との関係、産業の発達の背景と影響、戦争の推移、国民の生活や地域社会の変化、政治・経済体制変化と思想への影響などについて、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	国際社会(アジア近隣諸国や欧米諸国）との関係、産業の発達の背景と影響、戦争の推移、国民の生活や地域社会の変化、政治･経済体制変化と思想への影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握して構想している。また、考察・構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	歴史に関する諸事象について、課題を主体的に探究しようとしている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民といての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについてなどの自覚を深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第11章　近世から近代へ	1 開国とその影響 2 幕府の滅亡とその滅亡	a:対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権などの成立などを基に、近世から近代への時代の展開を理解している。 b:欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「日本は、どのような契機によって、近代的な社会の形成に向かったのだろうか」などの問いに対し、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

1学期	第12章 近代国家の成立	1 明治維新 2 立憲国家の成立	a:明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制への移行を理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:「なぜ日本は議会や憲法をもつ国になったのであろうか、そのことは国際関係や地域社会にどのような変化をもたらしたのであろうか」などの問いに対し、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
1学期	第13章 律令国家の形成	1 大陸政策の展開 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制	a:条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 b:アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c: 「当時の国民や近隣諸地域は日本の対外進出をどう捉えたであろうか」などの問いに対し、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

2学期	第14章 近代の産業と生活	1 近代産業の発展 2 近代の文化 3 市民生活の変容と大衆文化	a:文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。 b: 欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:「なぜ工業化は進展したのであろうか、またそれによって社会の在り方はどのように変わったのだろうか」などの問いに対して、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート
2学期	第15章 恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a:恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。 b:国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活の影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:「未曾有の戦禍をもたらした戦争はなぜ起こったのだろうか、これを避けることはできなかったのだろうか」などの問いに対して、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

3学期	第16章 現代の世界と日本	1 占領下の改革と主権の回復 2 55年体制と高度経済成長 3 現代の情勢	a:占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。 b:第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現している。 c:「第二次世界大戦後の日本の政治や社会は、それまでと何が変わり、何が継承、継続されたのだろうか」などの問いに対して、意見交換をはじめとする対話的な学びに主体的に取り組んでいる。また、教師や生徒相互の評価を受けて振り返りを行い、再度考察・構想するなど理解を深める工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワーク	授業プリント ワーク レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度